

- 【日 時】 平成 26 年 3 月 5 日
【訪問先】 西柴小学校 島田喜次校長先生
【概 要】 児童数 614 名 20 学級 各学年 3 学級 特別支援学級 2 組 職員数 27 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『自立』社会的な自立とそれに向けての準備

2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子や日本語が不自由な子はいない。来年度に外国籍児童が入学予定で、区役所の国際交流ラウンジや他のボランティア団体と連絡を取り合っている。また、外国の小学校に通っている日本人の子供たちの体験入学を受け入れている。(主に外国の小学校が休み期間となる7月が中心)



3、地域のボランティアの協力

西柴地区の方が英語サポーターとなり、授業で様々なゲームや遊びを通じて英語に触れる機会を設けている。また、たくさんの図書ボランティア・読み聞かせボランティアの方がおり、毎週金曜日に読み聞かせを行っている。

4、地域との防災の取り組み

新しいマンションが建てられるなど、学校周辺の耐震建て替えが進んでいる。また、地域の高齢化が進む中、学校まですばやく避難するためには課題が残っている。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

学校近くの西柴団地で開催される夏祭りでは、毎年5年生がソーラン節を披露している。

6、体力強化や部活動の取り組み

『とべとべフレンドパーク』と題して、1～6年生の縦割り班で、長休みや昼休みを利用して大縄跳びをしている。また、放課後にスポーツ系の習い事をしている児童も多い。

7、学校組織の強化・人材育成

いじめを防ぐにはまず子供たちを知ることが大切。

8、その他

コミュニケーションをとるのが苦手な子が増える中、集団生活の大切さを意識させ、みんなで一つの事を成し遂げた時の達成感をいかに教えていくかが課題。また創立41周年を迎え、親子2代で西柴小学校を卒業するケースも多く、親の世代が作り上げた”ふるさと”に加えて、子の世代を”新しいふるさと作り”へと導くことも重要。

【所感】

穏やかな口調の中にも、子供たちに対する熱い想いと強い信念を感じさせる校長先生でした。また、縦割り班で海の公園へ遠足に行くなど、海に近いという学校の周辺環境をうまく利用して、子供たちの絆を深める教育がなされていると感じた。

